

VERTEX Information

生態系保全を考慮した『環境配慮水路』

双翼型魚道 「ダブルウィング」



分離された水田と水路との間に魚道を設置することで、水生生物が水路に生息し、水田で繁殖を行うことの出来る生態系ネットワークを確保することが可能となります。



●高い遡上率

越流部中央は、魚類が遡上しやすい形状となっており、遊泳力の小さな魚類にも適しています。

●うろ効果

魚道の隔壁に設けたうろ(空洞)は、遡上中の魚類の避難場所となります。

切り欠け部(溝)により双翼型断面を形成しています。



切り欠け部

ウロ(空洞)

●越流部の形状

※ベンチフリューム(B300)に双翼部がセットされています。

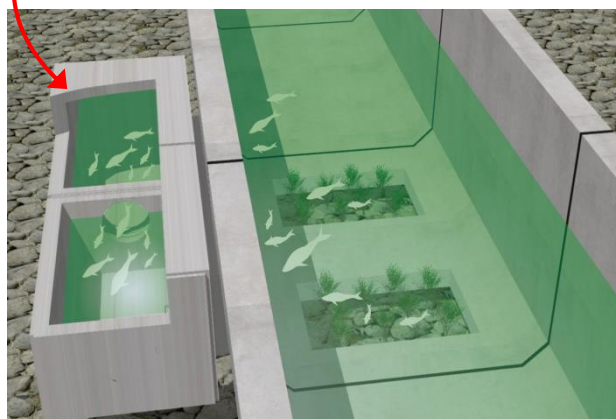
魚巢ブロック 「ハビロック」



ブロック内部に連通路を設け、延長方向に連続した構造の魚巢ブロックです。魚巢空間も大きく、大きめの魚類や小動物などにも有効です。農業用排水路、積みブロックの背面などに設置できるため、汎用性の高い魚巢です。植生土嚢や水質浄化材を充填することが可能です。



●「ハビロック」T型製品写真



●内部イメージ

採用ポイント

当該施設は築造後40年程度経過しており、護岸の破損や法面の崩壊が著しい状況であるため、取排水機能の維持確保を目的としコンクリート製の護岸により整備されております。

コンクリート構造は、無機質で一様な断面構造となるため、可動堰部には魚の遡上を助ける魚道、本線区間においては側面に魚巢、底版に開口を設けることにより周囲の環境・生態系に配慮した水路へ生まれ変わりました。

「ダブルウィング」 「ハビロック」



ゲート施工前



施工前



ゲート完成



完成



魚道



魚巢

